

# 閉会中の常任委員会調査

※閉会中常任委員会調査は、閉会中（定例議会と定例議会の間）に行われる継続審査や、調査の必要がある議題について行われる委員会です。

## 総務文教常任委員会

### 湯沢町の防災

緊急情報等の伝達方法は、電話・広報車・緊急情報メール・緊急速報メール・LINE・防災行政無線・消防無線サイレン吹鳴装置・防災ラジオ。災害用非常食は、ご飯・パン8,000食。町民1/3（2,600人）の3食/日分を備蓄。近隣市町村とも災害協定を結んでいる。消費期限が近いものは社会福祉協議会へ提供。

**Q** 地域ごとに想定される災害に対する訓練が必要と考える。

**A** 実施できるよう、各地区の自主防災組織を中心にリーダーの育成を検討。

**Q** 湯沢医療センターを含めた訓練の実施予定は。

**A** 今後総合訓練の中で検討する。

### 湯沢町の入札と契約状況

入札プロセスについての説明と令和2〜4年の入札件数の報告。

**Q** 入札は課ごとの管理か。

**A** 全て総務課の管轄である。

**Q** 建設工事請負業者のランクはホームページで見られるか。

**A** 掲載していない。

湯沢高原ロープウエーを契約例として説明。契約期間10年へ変更。自動更新は行わない。専門的な分野以外の工事は一般入札で実施。

**Q** 売却についてその後の進展は。

**A** 譲渡を含め話はあったが、現在は進展なし。

### 湯沢学園の運営状況と関連委員会の協議内容

夏休みから外部の指導支援を取り入れ、校内指導体制や保護者対応を徹底。授業中の様子は落ち着いてきた。湯沢学園運営協議会の主な取り組みは、福祉フェスティバルの運営協力、あいさつ運動の推進等。拡大委員会を開催し、全職員との懇談、学園の課題と取り組みについてグループ協議を実施。

**Q** 湯沢学園協議会に外部アドバイザーを入れる予定は。

**A** 現在は考えていない。

**Q** 教育フェスティバルが学習発表会になっている。今後の方向性は。

**A** 来年度に向け検討。

### 雪国館改修工事の進捗状況

改修工事のハード面は主にバリアフリー化とエレベーター工事。構造設計の変更等に伴い工事日程変更あり。ソフト面ではプロジェクトセッション、デジタルサイネージ、多言語対応を導入予定。プロジェクトセッションマップはイベント時にのみ投影予定。

**Q** 設計はどが受けているのか。

**A** ソフト面は三条印刷、建物は関越総合企画設計。

**Q** 説明の多言語対応の方法は。

**A** スマホの対応を検討。

**Q** プロジェクションマッピングはイベント以外でも投影すべきでは。

**A** 今後検討。

### 指定管理施設の現状と課題

教育課の指定管理施設は雪国館と児童クラブ。雪国館は、湯沢町観光まちづくり機構が管理。貴重な歴史、民俗資料等の保全管理は引き続き町が関与。令和4年度の入館者数はコ

ロナ前に戻ってきた。改修工事完了後、事業を進めていく。

児童クラブは、湯沢町社会福祉協議会が管理。今までは小学3年生までの受け入れだったが子育て支援棟内への移行に伴い、6年生までに拡大。周知し利用者増加を進める。

### その他

町民懇談会を1月末から2月頃に検討中。1月の議会日よりや広報でお知らせ予定。今回は子育て世代を対象とし、題材については検討中。

## 生活福祉常任委員会

### 湯沢町の介護人材の現状と課題

町内福祉事業所の職員数は令和3年度末より減少。介護人材就職支援金支給事業、介護人材確保支援事業補助金は前年度より増加。令和4年度から居宅介護支援事業所処遇改善補助を施設したが、どの事業所も改善なし。

**Q** 離職の理由はどうか。

**A** 追及していない。

### 湯沢町の療育事業の現状と課題

未就学児童に対する児童発達支援と就学児童に対する放課後等デイサービスを町内事業者こころのス